

- 1 室町時代に門徒が団結して一向一揆を起こした、その信仰のもとになった仏教の宗派を何というか？
- 2 琉球王国が都を置き、東アジア諸国を結ぶ海上交通の要衝として栄えた地はどこですか？
- 3 室町時代中期、將軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけとなった出来事は？
- 4 室町時代、銀閣が建立された頃に京都を主戦場として起こっていた大規模な内乱を何という？
- 5 室町時代、3代將軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何という？
- 6 鎌倉幕府の滅亡後に後醍醐天皇が始め、約2年半で崩壊した天皇中心の政治を何という？
- 7 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？
- 8 勘合貿易が始まるきっかけにもなった、当時朝鮮半島や中国沿岸を荒らしていた海賊集団のことを何という？
- 9 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形環境が重要であった？
- 10 琉球王国が日本、中国、東南アジア諸国を仲介して行った、輸出入を通じた経済活動を何といいますか？
- 11 鎌倉幕府が滅亡した後、天皇中心の政治を再び行おうとして失敗した人物は誰？
- 12 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？
- 13 室町時代に、幕府から地方の軍事・行政権を与えられ、領地を支配した地方官を何という？
- 14 15世紀に中継貿易で栄えた東アジアの王国を何という？
- 15 琉球王国が都を置き、貿易によって栄えた王国の中心地はどこか？
- 16 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 17 室町幕府の第3代將軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？
- 18 室町時代に、幕府が許可を与えた商船が中国の明と行った貿易を何という？
- 19 室町時代、琉球王国が日本や東南アジアの産物を運んで中継貿易を行った、当時「明」がおさめていた東アジアの中心的な国はどこ？
- 20 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代將軍は誰？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	浄土真宗 は「悪人正機」の教えを掲げ、身分に関係なく救われることを説いたため、農民や商人たちに深く浸透しました。		浄土真宗	☐
2	首里 は琉球王国の政治・経済・文化の中心地として整備され、 首里城 が築かれました。		首里	☐
3	8代將軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。		応仁の乱	☐
4	1467年に始まったこの戦いは、全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、日本全土に広がりました。		応仁の乱	☐
5	鹿苑寺金閣 は、この北山山荘の中核として建てられた舍利殿です。		鹿苑寺金閣	☐
6	建武の新政 では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。		建武の新政	☐
7	書院造 は、床の間、違い棚、付け書院といった装飾的かつ機能的な要素が備わっているのが最大の特徴です。		書院造	☐
8	倭寇 は朝鮮半島や中国沿岸の都市を襲撃し、略奪や密貿易を行っていました。		倭寇	☐
9	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。		峻険な山々	☐
10	中国、日本、朝鮮、東南アジア諸国を自国の船で結び、それぞれの国の特産品を運ぶ貿易を行いました。		中継貿易	☐
11	後醍醐天皇 は足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。		後醍醐天皇	☐
12	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に 定期市 を開かせました。		定期市	☐
13	守護 は幕府に任命された地方の支配者で、軍事と警察権だけでなく、徴税権も認められるようになりました。		守護	☐
14	琉球王国 は、中国（明）、日本、東南アジアの国々を繋ぐ「中継貿易」で莫大な利益を得ました。		琉球王国	☐
15	首里 は琉球王国の王都として整備され、 首里城 が置かれました。		首里	☐
16	北山文化 の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。		北山文化	☐
17	義満は京都の北山に別荘として北山殿を造営し、その象徴として金閣を建てました。		足利義満	☐
18	足利義満が明の皇帝と交渉し、正式な貿易が始まりました。		勘合貿易	☐
19	中国 は当時、非常に進んだ産業や文化を持っており、日本を含む諸国から製品が求められました。		中国	☐
20	足利義政 は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。		足利義政	☐

言えなかった用語ノート